

第六十七回帝國議會
衆議院

請願委員第一分科(内閣、大藏省所管及他)會議錄(速記)第二回

會議

昭和十年二月十八日(月曜日)午前十一時十八分開議

出席委員左ノ如シ

主査 高橋 泰雄君

岡田伊太郎君 田中喜代松君

沼田嘉一郎君 米田規矩馬君

山下 谷次君 栗原彦三郎君

兼務

川手 甫雄君 立川 平君

佐々木家壽治君 熊谷五右衛門君

近藤壽市郎君 伊藤皆次郎君

實岡半之助君 荒川 五郎君

藤井 啓一君 川橋豐治郎君

中川 觀秀君

同月四日本分科所屬員田島勝太郎君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月五日高野喜六君當選シ本分科所屬ト爲リタリ

出席政府委員左ノ如シ

法制局參事官 樋貝 詮三君

大藏書記官 廣瀬 豐作君

主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員岡田 忠彦君 同 池田 敬八君

同 福井 甚三君 同 楠 基道君

同 重松 重治君 同 板野 友造君
同 田村 實君 同 佐藤 與一君
同 坂東幸太郎君 同 安藤 正純君
同 村上紋四郎君

本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ

一 傷痍軍人戰公傷病死者遺族傷病年金者優遇其ノ他ノ件(第五九〇號乃至第六〇三號、第六一六號)

二 元北海道廳森林監守ノ恩給ニ關スル件(第五七二號)

三 我カ國ノ名稱確定ニ關スル件(第三三四號)

四 皇國國體號確立ニ關スル件(第六五八號乃至第六六三號)

五 國會議事堂内ニ聖德太子尊像奉安ノ件(第六八六號乃至第六八八號)

六 萬世一系ノ皇統御太元竝肇國ノ紀元ニ關スル件(第六一三號)

(七及八ハ會議ニ上ラス)

九 砂糖消費稅入目免除ニ關スル件(第六二二號)

(六二二號)

一〇 製油用大豆關稅免除率改正ノ件(第四五二號)

(一一ハ會議ニ上ラス)

○高橋主査 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程

第一、傷痍軍人戰公傷病死者遺族傷病年金者優遇其ノ他ノ件、文書表第五百九十號乃至第六百三號、第六百十六號ヲ議題ト致シマス——紹介議員林路一君

○岡田委員 本請願ハ種々ノ項目ニ分レテ居リマシテ、此中ニハ既ニ採擇シタ部分モアルノデアリマスガ、尙ホ第六ノ舊恩給法實施以前ニ死亡シタ増加恩給受給者ノ遺族ニ扶助料ヲ支給スルト云フ問題モアリマス

ガ、此恩給支給方法ヲ變ヘナケレバナラス、殊ニ傷痍軍人戰公傷死亡者等ニ對スル事竝ニ遺族扶助ニ對シテハ、尙ホ此種ノ審議會ヲ以テ審議シテ居ラレルト云フノデアリマスガ、本請願ノ一般ニ通ジテ當局ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○樋貝政府委員 此請願ハ數項目ニ互ッテアリマスガ、第一ノ傷病年金者ニ増加恩給ヲ支給スルヤウニト文書表ノ中ニアリマス、其部分ニ付キマシテハ、是ハ現在ノ事情ニ於キマシテハ、固ヨリ之ヲ傷病年金ヲ増加恩給ニ直スト云フコトハ、一ツノノ裁定ニ付キマシテハ言ヘマスケレドモ、制度トシテハソコマデハ參リマセヌ、諸般ノ事情

カラ考ヘマシテ、大體昨年ノ改正ヲ以テ、ソレデ満足シテ戴カナケレバナラナイト云フ事情ニアリマス、ソレト同様ニ第二ノ傷病年金ヲ傷病年金ニ改メルト云フコトモ、制度全體ト致シマシテハ、是モ只今實現ハ不可能ト考ヘテ居リマス、唯今迄傷病賜金ヲ貰ッテ居タ人ガ、具體的ニ傷ノ程度ナドガ高マツタ爲ニ、傷病年金ニ改訂シテ貰ヒタイト云フヤウナコトハ、サウ云フ事件ヲ處理シテ參リマス時ニハ、餘程斟酌ヲ加ヘマスケレドモ、制度トシテ一般ニ、傷病賜金ヲ現在貰ッテ居ル者ニ、全部傷病年金ヲヤルト云フコトハ出來マセヌ、ソレカラ第三ニ無償傷痍者ノ待遇改善、此中ニハ色々ノ事ガ考ヘラレテ居リマスガ、恩給ナドニ關スル限リニ於テハ、是モ昨年ヨリ實行致シマシタ舊恩給法ノ改正ニ依リマシテ、傷病年金或ハ増加恩給ニ救ハレテ居リマスノデ、今日ノ所其恩給ノ方面デ、更ニ制度トシテ改正ヲ加フベキモノハゴザイマセヌ、ソレカラ傷痍軍人ニ交付スル無賃乘車券ノ手續簡易化、是ハ一般ノ鐵道關係ノ方カラ、其點ニ付テ申上ゲルコト、思ヒマス、私一寸其方面ノ具體的ノ知識ヲ持チ合セテ居リマセ

ヌカラ、其様ニ御願致シマス、ソレカラ戦公傷病死者傷痍者遺族扶助料ノ増額、是ハ昨年ノ恩給法改正デ、多少ナガラモ増額致シテ居リマスシ、財政ノ都合ト云フコトガ、大キナ支配力ヲ有テ居リマスノデ、思フニ委セナイ點モアリマス、一應ハ昨年ノ増額デ満足シテ戴クヨリ外ニ仕方ガナイト考ヘテ居リマス、ズット將來ニ至リマシテ、財政ニ少シ餘裕デモ出來ルヤウナ場合デモアリマス、其他ノ改正ヨリカモ、斯ウ云フ點ニ改正ヲ加ヘテ増額ラシテヤル方ガ、恩給ト云フ立場カラ見レバ宜シト云フコトハ考ヘテ居リマスケレドモ、財政等考慮致シマス、直チニ之ヲ實現スルト云フコトガ不可能ニ只今ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ第六ニアリマス舊恩給法實施以前死亡シタル増加恩給受給者ノ遺族ニ扶助料支給ト云フ點デアリマスガ、是ハ例ノ兵籍簿ニ登録シテナカッタ寡婦ニ對シテモ、更ニ將來ニ向ッテ扶助料ヤルヤウニト云フコト、心得マスガ、此點ハ理論ノ問題ハ別ト致シマシテ、年々此請願委員會ニ於キマシテモ申上ゲテ居ル通りニ、何トカ給與ノ方面ニ向ッテ進行シテ行キタイト云フコトヲ考ヘテ居リマシテ、先年ノ恩給法改正ニ於キマシテモ、其當時考慮致シ、其後ニ實數ニ就テ調査ヲ

進メテ參ッテ居ラ譯デ、大凡ノ見當ハ付キマシタ譯デアリマス、ソコデ政府内部ニ於キマシテモ、恩給當局ト大藏當局トノ間ニ其交渉ヲ進メテ參リマシタガ、何分御承知ノヤウナ財政狀態デ、幾ラカ財政ニ餘裕ガ出來タナラバ、其時ニハ成ベク早ク之ヲ實現シテ行カウト云フヤウナ、財務方面ノ意嚮モアリマシテ、未ダ實現スルマデニ至リマセヌケレドモ、是ハ銳意其實現ニ努力シテ行キタイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ軍人恩給法ヲ獨立ニ制定シテ貰ヒタイト云フヤウナ事項ガ第七ニアリマスガ、是ハ政府ト致シマシテハ、絕對ニ反對セザルヲ得ナイ事情ニアリマス、ソレハ色々ナ點カラ、其理由ヲ申上ゲルコトガ出來ルト思ヒマスガ、恩給法ニ諸種ノ恩給法ヲ、軍人恩給法トカ、或ハ學校職員——中等學校職員ノ恩給法トカ、或ハ小學校教員ノ恩給法トカ、官吏ノ恩給法、官吏ノ扶助法トカ云フヤウナ、諸種ノモノヲ大正十二年ニ統一シテ、現在ノ恩給法ヲ制定致シマシテ、諸種ノ公務員ノ間ノ公平ヲ保ッタノデアリマス、軍人ノ特殊性ハ十分ニ顧ミテヤルガ、併ナガラ不公平ニ之ヲ取扱フト云フコトハシタクナイ、實情ニ應ジテ、各特殊ノ事情ガアルモノニ付テハ、其事情ヲ酌シテ現在

ノ恩給法ハ大體出來テ居ルト云フコトヲ確信致シテ居リマスノデ、之ヲ更ニ還元シテ、軍人恩給法ヲ獨立シテ制定スルト云フ必要ハ全然アリマセヌ、若シ之ヲ想像致シマスト云フト、ソレニ依ッテ他ノ公務員トハ不公平ニ、特殊ナル利益ヲ與ヘル爲ニヤルト云フコト以外ニハ理由ハ考ヘラレマセヌ、不公平ニヤルト云フコトハ、國家トシテハドウシテモ是ハ避ケナケレバナリマセヌ、此點ニ付キマシテハ何處マデモ反對ノ考ヲ有ッテ居リマス、大體以上ノ通りデアリマス

○岡田委員 本請願ハ各項ニ分レテ居リマシテ、中ニハ既ニ採擇シタモノニ類似ノ項目モアリマスルガ、各一項々々ニ依リマシテ審カニ致シテ居リマスレバ、甚ダ多クノ時間ヲ要シ、此審議決定モ容易ヂヤナイト思フノデアリマス、大體ニ於キマシテ、本請願ハ餘リ煩瑣ニモナッテ居ルノデアアルシ、何レハ審議會等ニ於テ考慮ヲ拂ハルベキ資料トハナラウト思フノデアリマス、政府ニ參考トシテ送付シテ置キタイト思ヒマス

○高橋主査 岡田君ノ御意見ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○高橋主査 ソレデハ本件ハ參考トシテ政府ニ送付スルコトニ決定致シマシタ

○高橋主査 日程第二、元北海道廳森林監守ノ恩給ニ關スル件、文書表第五百七十二號ヲ議題ト致シマス、紹介議員岡田伊太郎君ノ御説明ヲ願ヒマス

○岡田委員 私ハ紹介議員トモナッテ居リマスノデアリマスルガ、此請願本文ハ餘程詳細ニ其理由ヲ述べテ居リマスノデアリマスガ、局長ニ於カレテハ十分此請願ノ趣旨内容ニ付テハ、御承知ノコトデアルト考ヘマス、而シテ此請願ハ今日マデ請願ラシナケレバナラヌヤウナ狀態ニ置イテ置カレルト云フコトハ、全く不思議ナ一ツデアリマシテ、疾ニ恩給ヲ受ケタイト云フ此人々ノ希望ハ、滿タサレテ居ラナケレバナラヌコトデアリマシテ、考ヘマスルト云フト、決シテ不當ナル事ヲ申出デ、居ルノデハナクシテ、當然ナ事ヲ——唯、恩給法改正等ノ時ニ、事務的ニ手落ニナッテ居タト云フコトガ明ニナッテ居ルノデアリマスルカラシテ、別段私ハ恩給法ノ改正ト云フヤウナ、サウ云フ大袈裟ナコトゴナクトモ、處理ノ出來ルコトデアルト考ヘマスノデゴザイマスルガ、既ニ若槻内閣ノ時代ニモ是ハ當然ノ事デアルトシテ、既ニ其事ヲ認メラレマシテ審議會ニ於キマシテモ決定サレタ、唯森林監守ト云フモノガ森林主事ニナッタト

云フダケノコトデアリマシテ、辭令一枚モ要セズシテ直チニソレヲ通算シ繼續セラレテ來タコトデアリマスルカシテ、何等此點ニ付テハ疑義ノ生ズベキコトデハナイト

思フノデアリマス、唯之ヲ認メマス同時ニ、豫算ノ上ニ於テモ少額ナガラ數字ガ現ハレルコトデアリマスルカシテ、今日ノ此財政ノ狀態決定シテ居ラナカッタノラ幸ト申シマスガ、ソレヲ宜イ事トシテ、其儘ニ一年デモ繰延ベテ行クト云フコトハ、國家ト致シマシテ、斯様ナ順序ニ副ハナイコトヲ其儘ニシテ置クト云フコトハ甚ダ宜シカラヌコトデアル、斯様ニ申スコトガ出來ヤウト思ヒマスルカシテ、其金額モ恩給額ト致シマシテモ、二万二千圓ノモノデア

御同意御承認ヲ與ヘラレタイト思フノデアリマス、御意見ヲ伺ヒマシテ尙ホ申述べタイト思ヒマス

○議員政府委員 只今岡田サンノ仰シヤッタヤウニ、此件ダケ見マシテ立法スル場合ニ當リマシテ、別ニサウ不當デモナイデヤナイカト云フ其點ニ付キマシテハ、洵ニ御同感デアリマスガ、是ハ只今ノ岡田サンノ仰シヤッタヤウニ、實ハ十二年ノ恩給法改正ノ時ニ間違ッタ、ウツカリシテ是ダケ脱落シタト云フ事情デハアリマセヌノデ、當時十分ニ意識シテ是モ置イテ行ッタノデアリマス、ト申シマスルノハ、是ハ現在ノ森林主事ハ判任官デアリマスガ、ソレヲ置キマシタノガ、大正七年ノ一月ノ勅令第二百七十八號ト云フモノデアリマシテ、其前ニ北海道廳森林監守規程ト云フモノガアリマシテ、ソレデ以テ森林監守ト云フモノガ置カレテ、是ハ判任待遇デアッタ、所ガ恩給法ヲ大正十二年ニ制定致シマシテ、其當時ニ於ケル所ノ公務員ニ種々新タニ恩給ノ性質ヲ附與致シタモノガアル、又從來恩給性ヲ持ッテ居ッタ軍人トカ、官吏トカ云フヤウナ者ニ、其儘ニ恩給性ヲ存続スルト云フ兩方ノ恩給性ヲ認メテ、且ツ之ヲ相互通算スルコトニ致シマシタガ、過去ニ溯ッテソレマデ恩給性ノ

無カッタ者ニ恩給ノ性質ヲ附與シタト云フモノハ、其當時ニハ殆ドアリマセヌ、殆ドト申シマスルノハ、極ク少數溯ルコトヲ認メテ居リマスケレドモ、大體ハアリマセヌ、此森林監守ニ付キマシテハ、從來恩給性ノナカッタ者ニ對シテ、恩給性ヲ與フルヤウニスルカドウカト云フコトデ、恩給法制定ノ委員會デモ相當ニ議論ガ取交サレテ居リマシタガ、切レテシマッタ、言換レバ十二年ノ恩給法制定ノ前ニ、既ニ切レテシマッタ其森林監守ト云フ者ニマデ、恩給性ヲ認メルト云フコトニナルト、同ジヤウナ事情ノ下

ニアル公務員ガ非常ニ澤山アル、其處ニマデ及バナケレバナラヌカラ、是ハ切ラネバナラヌノダト云フヤウナ議論ガ勝ラ占メマシテ、此森林監守ハ置イテキ堀リニ實ハナッタ譯ナンデアリマス、唯森林監守ト、ソレカラ森林主事ト實質的ニ何處ガ違フカト言ヘバ、殆ド違ヒマセヌ、其事ハ政府ニ於キマシテモ十分認メテ居リマス、唯森林監守ト言ッタノガ判任待遇デアリ、今度森林主事ト言ッタノガ、判任官ニナッタト云フダケノ相違デ、大體中デヤッテ居ル仕事ト云フモノハ、判任待遇ガ判任官ニナッタカラト言ッテ、サウ變ル譯デハアリマセヌ、サウ云フ事情カラ言フト、略、同様ノ取扱ガアッテモ宜

イノデハナイカト云フコトガ申サレルノデアリマスガ、形式論ト申シマスガ、法律論ト申シマスガ、其立場カラ言ヘバ、判任官デアル森林主事ト、判任官待遇ノ森林監守トハ全ク別箇ノモノデ、判任官ノ森林主事ニ恩給制ガアルカラト云フノデ、森林監守ノ方ニ遡及スルト云フ譯ニハ參リマセヌ、其點甚ダ惱ミガアリ、而シテ只今申上ゲマシタ委員會ニ於キマシテモ、開キ直ッテ理窟ヲ言ハレマスルト、ソレニ又向フコトガ出來

ナイト云フヤウナ事情デ、實質上ノ類似性ト云フヨリ、寧ロ同一性ト言ッタヤウナ——ソレカラ法律的形式的性質ニ於テ全ク違ッテ居ルト云フ點ト、兩方ノ實ハ板挟ミニナッタヤウナ形ノ問題デアリマシテ、今岡田サンハ仰シヤッタヤウナ決シテ是ハ忘レタト云フ問題デアリマセヌト同時ニ、又岡田サンノ仰シヤッタ通り、是ハ他ノ恩給性ナド、大分趣ガ違ヒ、實質的ニハ同情セネバナラヌモノデアリマス、ソコデ色々之ヲドウ解決スルカト云フコトデ、恩給當局ノ方デモ苦心致シマシタヤウ譯デ、只今迄ドウモ是ハ今仰シヤラレタヤウニ、請願者ノ満足ノ行クヤウナ解決ガ出來得マセヌデ、其儘ニナッテ居ル次第デアリマス、今ソレナラバ直チニ請願者ニ満足ノヤウナ解決方法ガ發

見セラレカト申シマスルト、ソレハ一寸望ミガアリマセヌノデ、遺憾ナガラ尙ホ考究ヲ他日ニ殘スト云フヨリ外申上ゲヤウガナイノデアリマス、若シ是ガ單獨ニ切離シテ考ヘ得ルモノデアルトスラバ、餘程此點ハ都合ガ宜シウゴザイマスケレドモ、只今申上ゲマシタヤウナ事情デ、色々關聯ヲ有ツテ居リマスノデ、ドウモサウ云フ風ニ申上ゲ兼ネルノハ返ス、モ遺憾ト考ヘテ居リマス

○岡田委員 只今局長ノ御意向ヲ伺ヒマシテ、一層此請願ニ對スル私ハ同情ヲ感ズルノデアリマス、六十五議會ニ於キマシテ局長ガ本件ニ對シテ述ベラレタル御意中ハ、今少シ是ハ何トカシナケレバナラスト云フ御考ノ點ガ現ハレテ居ッタノデアリマスルガ、只今伺ヒマス、實際ノ情勢ハ之ヲ認ムルケレドモ、其時ニモ審議シナカッタノデハナイト言ハレル、私ハ是ハ一ツノ手落デアッタト認ムルノデアリマスガ、局長ハ審議ハシタノデアルガ、考慮ノ結果入ラナカッタノデアルト承リマシタガ、實際ドノ點カラ申シマシテモ、其時ニ本當ニ審議シタモノデアラナラバ、左様ナ結論ノ出ル譯ガナイト考ヘルノデアリマス、森林監守ト云フ名稱ハ森林主事ニナリマシタケレドモ、

是ハ御認メニナツテ居ル通り聊ノ違ヒモナイ、而シテ其森林監守ハ制服制帽帶劔、所謂劔ヲ帶ビテ、場合ニ依レバ檢事ノ執ルベキ仕事マデモヤツテ居ッタノデ、此下ニ北海道ニハ事業主ト云フモノガアリマスガ、ソレ等ハ此下ニ屬シテ指揮命令ヲ受ケテ居ッタ、其人々ハ既ニ恩給ニ浴シテ居ル、而シテ國家ハ之ヲ判任官トシテ待遇シ、敘位敘勳ノ御沙汰ナドハ普通ノ官吏ト同ジニ受ケテ居ル、然ルニ此監守ノ方ハ恩給ハ受ケテ居リマセヌケレドモ、服務年限ニ相當シタ敘位敘勳ノ御沙汰ナドハソレノ受ケテ居ル、ソコデ私考ヘテ見マスニ、脱落シタノデハナイ、手落デハナイト云フコトデアラナラバ、ソレハソレデ議論ハ申シマセヌガ、然ラバソレガ所謂下積ニナツテ居ッテ、審議ニ上ラナカッタ、或ハ上ツテモ其資料ガ不整備デアッタ爲ニ此運命ニ居ルモノデアルトシテ、今日更ニ斯様ナモノガ明ニナリマシタ以上ハ、國家トシテハ相當ノ待遇ヲシテアルノガ當然デアッテ、其儘ニ埋メラレテアルカラシテ、幸ヒ其儘ニシテ置クト云フコトハ、國家トシテノ執ルベキ途デアリ、斯様ニ考ヘルノデ、茲ニ其一條ニアリマス通り、大正十五年時ノ若槻内閣ニ於テハ此趣旨ヲ至當ト認メテ政府ハ恩給法改正

ノ立案ヲ爲シ、同年十月二十八日ノ行政調査審議會ノ總會ニ附議シテ恩給法改正案ノ骨子トナシ、同案ノ第十項ニ「北海道森林監守ヨリ北海道森林主事トナリシモノ改正法施行ノ際迄引續キ在職シタルモノニ付テハ其北海道森林監守トシテ在職年月日數ヲ恩給法ノ適用ニ付テハ之ヲ北海道森林主事トシテ在職シタルモノト見做ス」斯ウ云フ風ニハッキリシテ居ル、唯不幸ニシテ其時ノ内閣ガ又政變ニ遭ウタモノデアリマスカラ、是ガ實現ヲ見ズシテ今日ニ至ッタノデアリマスガ、ドウ云フ方面カラ見テ參リマシテモ、是ガ恩給法ニ加ハラヌト云フコトハ、私ハ一ツノ不思議ダト云フ考ヲ有ツモノデアリマス、而シテ北海道ノ森林ノ監視ニ當ッタ者ト致シマシテハ、御承知ノ北海道ノ大森林ヲア、シテ保護シテ來タガ、ソレハ勿論上ノ統率宜シキヲ得タ爲デアリマセウケレドモ、實際此困難ナ未開ノ繁茂ラシテ居ル森林ノ中ニ於テ、火防ノ方面ニ付キマシテモ、盜伐ノ方面ニ付キマシテモ、非常ナ困難ヲ見テ居リ、加フルニ熊襲ノ害、即チ熊ナドノ害モ非常ニアリマシテ、ソレ等ガ人命ニ及ボシテ斃レタ人々モ澤山アルノデアリマス、此困難ナ時代ニ此任務ニ服シタ人々ハ、今ハ大抵六十以上カラ八十位ニ

ナツテ居リ、モウ幾人モ居ラヌノデス、段々死ンデシマヒマシテ、モウ殘ツテ居ル者ハ僅カデアルガ、セメテ殘ツテ居ル者ダケデモ此恩給ニ浴セシメテ、既ニ死ンダ人々ニ對シテハ殘ツテ恩給ニ浴シタ人々カラ、相當ノ慰靈デモスルヤウナ、多少茲ニ人情味ノアル處理ヲセシメタイシ、又國家トシテモ與ヘテヤラナケレバナラスト思フガ、局長ハ前々ノ會議ニ御意嚮ノアツタ時分ニハ、事務的ニハ困難デアルケレドモ、同情シナケレバナラストカラ、是等ハ何トカシテヤリタイト云フコトモ承ツタノデ、私ハ其事ヲ請願シテ居ル人々ニ、斯様ナ情勢デアツタカラト云フコトヲ傳ヘマシタ所、感涙致シテ皆ガ其恩給ニ浴スルコトヲ期待シテ居ルノデアリマス、然ルニ是ガ出來ナイノダゾト云フコトヲ申渡スナラバ、ドンナ悲惨事ガアルカ分ラナイノデス、此人々ノ中ニハ、ソレハ必シモ恩給ト關係ガアルバカリデモアリマスマイケレドモ、生計困難デ自殺ノ運命マデ迫ッタ者モ二三アルト云フヤウナ譯デ、此北海道ニ於テ奉公致シマシタ森林監守、其後主事ニナッタ人々ハ、現在デハ最早人生ノ末期ニ居ッテ、寔ニ氣ノ毒ナ狀態ニ彷徨シテ居ルノデアリマスカラシテ、何カーツ御工風下サツデ、之ニ途ヲ與ヘテヤツテ戴キタイト

思フノデアリマス、或ハ事務的ニハ多少困難カモ知レマセヌガ、モウ幾人モナイノデス、私ノ考デハ一年ニ二万圓位宛此處五、六年モ與ヘレバ此問題ハ解決スルと思フノデアリマス、ドウカ一ツ此點ニ付テハ、モウ一ツ派アル御答ヲ得テ、何トカシテヤッテ戴キタイ、私ハ是ハ普通ノ恩給ノ請願等トハ大分趣ガ違フト思フノデ、局長ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○議員政府委員 只今岡田サンカラ縷々事情ニ付テ御話ガアリマシタガ、先程モ申上ゲタ通りニ、其實情ニ於キマシテハ、無論岡田サント御同感デアリマス、昨年ノ舊法改正ニ於キマシテモ、實ハ之ヲ政府部内デ問題ニ致シマシタガ、最後ノ改正案トシテ出ル時ニ已ムナシニソレヲ省クト云フコトニナツテシマヒマシタヤウナ譯デアリマス、是ガ實情デアリマスガ、丁度同ジヤウナ關係ガ相當ニアリマスノハ、大正十二年ニ各地方廳ノ職員デ、待遇職員デナイノハ地方吏員ノ待遇職員ニシタラドウカ、待遇職員トシテ、特ニ恩給法改正ニ依ッテ恩給制ヲ認メタト云フノガ澤山アリマスガ、ソレモ吏員カラ判任官待遇ノ所謂待遇職員ニナリマシタカラト言ッテ、實際ヤッテ居ル仕事ハサウ變リマセヌ、同ジヤウナ仕事ヲ其儘續ケ

テ居ルノデアリマスカラ、是モ待遇職員トシテ打切ッテ、ソレ前ニハ廻リマセヌ、ソレカラ地方吏員以外ノ待遇職員ナドニ付キマシテモ、サウ云フヤウナ事情ニナツテ居リマスシ、官吏ト各廳ニアリマス雇員デモ判任官ニナツタカラ急ニ仕事ガ變ルト云フヤウナコトデモナイガ、判任官カラガ在職年ニ數ヘラレルト云フヤウナコトガアリ、其性質ガ變ルノニ依ッテ或ハ恩給ノ在職年ニ取ラレ、或ハ取ラレヌト云フヤウナコトガ分レテ参リマスノデ、大正十二年ノ時ニ、只今モ申シタヤウニ當時ノ法規整理委員會ト云フモノデ恩給法ノ審査ヲ致シ、私ガ大學ヲ出テマダ間モナイ頃デシタガ立案者デ、現在ノ恩給法ノ立案ヲ致シタ譯デアリマスガ、内部ノ事情ヲ申上ゲルト、其立案當時ニ於テ年額一千二百萬圓ノ増額ヲ來スヤウナ案ニ統一ヲ致シマシタ、所ガ財務當局ノ方カラハソレハ困ルト云フヤウナコトデ、極ク僅ノ増額ノ案ニセネバナラスヤウニナリマシテ、更ニソレガ議會ニ現ハレテ一舉三千六百萬圓ノ増額修正ヲ受ケマシタヤウナ事情ニナツテ來マシタ爲ニ、初ノ案デ十分ナ色々ノ小サイ因ル修正ヲ施スノ餘地ガナシニ、其法案デ議會ニ臨ンダト云フヤウナ事情ガアリマシテ、隨テ今ノ森林監守ノヤ

ウナ點モ同様ニ全然問題ニシナカッタトカ、忘レタトカ云フ譯デハアリマセヌガ、ソレ等ノ事情ニ牽制サレテ之ニ觸レルコトガ出來ナイデ、只僅ニ從來サウ云フヤウナ事情ヲ認メテ居ッタモノダケガ其折リ認メラレルト云フヤウナコトデ、恩給法九十條ノ末項ト云フモノガ出來マシテ、ソレニハ「前項但書ノ場合ニ於テ從前ノ規定ニ依リ特ニ通算シ得ヘキコトヲ定メラレタル年月數アルトキハ前項但書ノ規定ニ拘ラス之ヲ在職年ニ通算ス」ト云フコトガ恩給法九十條ノ末項ニ置カレマシテ、之ニ依ッテ救ハレタ者ハ、此議院ニ於ケル所ノ速記技手ノ前身雇員デアル部分ガ救ハレテ居ル譯デアリマス、ソレハ前ノ法律デズット古ク救ッテ置キマシタガ、ソレガ其儘ニ認メラレタノデアルガ、十二年ニハ例外トシテ其儘ニ存置サレテ居ルト云フヤウナ狀態デ参ッテ譯デ、其他ニハ觸レテ居リマセヌ、サウ云フヤウナ事情デ参ッテ居ルノデアリマスカラ、ソレガ果ヲ爲シタト云フカ、愈々森林監守ノ問題ヲ解決スルニ付キマシテモ常ニ邪魔ニナリマスノデ、ドウシテモ恩給法改正ヲヤラナイト救フ途ガ差當リ見付リマセヌト云フ實情ニアリマス、隨テ何トカ恩給法改正ノ時ニ財源デモ見付ケテ、サウシテ是ヲモ救ヒタイト云フ

考ハ有ッテ居リマシタシ、又現在ニ於テモ其考ハ捨テ、居ル譯デハ無論アリマセヌケレドモ、差當リ具體的ノ機會ガ一寸發見シニクイト云フ事情デアル譯デアリマス、若シサウ云フヤウナ機會、或ハサウ云フ風ナ財源ト云フモノガ考ヘラレマスレバ、是等ノ問題ハ無論不當ナモノデハアリマセヌカラ、何トカ解決シテヤリタイト云フ考ハ、是ハ六十五議會ニ於テ申上ゲマシタ當時ト少シモ變ラナイノデアリマス、唯單純ニ忘レタト云フノデハ無論アリマセヌデスカラ、其點ハドウゾ御諒承ヲ願ヒタイと思ヒマス、實現ニハ参リマセナカッタノデアリマスガ、若規内閣ノ時ニ現レマシタノモ、本質ニ於テ同情スベキ所ガアルカラト云フコトニ、無論出發シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○岡田委員 時間モ大分經過致シ、委員諸君ニ洵ニ恐縮デアリマスカラ、此位ニ致シマシテ、尙ホ申上ゲタイ點ガアリマスガ、政府ノ方ニハ、常ニ此請願文書表ニ於テ述ベテアル通りデアリマスカラシテ、此點ニ付テハ御認メテ戴イテ居ルコトデアルシ、又同情ノアル點モ伺ヒマシタガ、何シロ是ハ幾ラ年月ガ過ギマシテモ、廻ッテ戴クト云フ譯ニモ参ラヌノデアリマスシ、其中ニ老體ノ受恩給者ニナルベキ人々デアリマス

ルカラ、是モ長イ先ヲ待ツ譯ニモ參ラヌ狀

態デアリマス、ドウカ成ベク速ニ其機會ヲ

御作り願フテ、豫算デ申シマシタナラバ極ク

少額——此人々カラスレバ、大問題デアリマ

スルケレドモ、國家ノ財政カラ申セバ、洵

ニ輕微ノ事柄デアリマスルカラ、是モ一ツ

政府ノ恩命ノ有難イト云フ觀念ヲ此者等ニ

モ徹底セシメテ、與ヘルノモ大ナル貢獻ノ

アルコトデアリマス、尙ホ本委員會以外ニ

モ、局長ニ御懇談ヲ願フ機會モアルト存ジ

マスカラ、今日ハ此程度ニ止メマシテ、採

擇ニ致シテ置キタイト思ヒマス、採擇ニ願

ヒマス

○高橋主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○高橋主査 ソレデハ採擇ニ決シマシタ

○高橋主査 日程第三、我カ國ノ名稱確定

ニ關スル件、文書表第三百三十四號ヲ議題

ト致シマス、紹介議員荒川五郎君ノ説明ヲ

願ヒマス

○荒川委員 我國ノ名稱ノコトニ付キマシ

テ、在野ノ憂國ノ志士デアル頭山滿翁、竝

ニ日日、朝日、報知、讀賣、國民等、有力

ナル言論機關ノ代表者ガ請願致シタ請願デ

アリマス、是ハ昨年モ請願ガ出テ通過致シ

マシタ、尙ホ議員ヨリモ建議案ガ出テ通過

致シタノデアリマスガ、我ガ日本ヲ「ジ

ヤパン」ト言習ハシニナツテ、ソレガ唯日本

ガ英吉利ヲ便宜ニ英國ト言フトカ、或ハ亞

米利加ヲ米國ト言フヤウニ、唯私的ニ都合

向キデ簡略ニ述ベルノハ、ソレハ述ベル人

ノ勝手デアリマスケレドモ、國家ヲ代表ス

ル場合ノ國際文書、竝ニ輸出商品ノ商標等

ニマデ「ジヤパン」ト言ハナケレバ通ラナ

イ、輸出品ガ「メード・イン・ニッポン」トア

レバ、之ヲ追返シ「メード・イン・ジヤパン」

デナケレバナラヌト云フガ如キハ、是ハ甚

ダ然ルベカラザルコトデ、西洋諸國ガ「ジ

ヤパン」ト誤リ來タノハ已ムヲ得マセヌ

ガ、堂々我ガ大帝國ガ自ラ其誤リニ引摺ラ

レテ、自分デ對外的ニ「ジヤパン」ヲ平氣デ

言ツテ居ル、文書ニモサウスルト云フコトハ、

實ニ國民ノ矜持ヲ傷ケ、自尊心ヲ損フコト

極メテ大デアリマス、今ヤ日本ハ總テヲ自

主的ニ檢討スル此時機ニ於テ、速ニ之ヲ訂

正スルト云フコトハ、我ガ日本帝國ノ名譽

ノ爲ニ、全國民ノ地位ヲ確定シ、自尊心ヲ

安定スル上ニ於テモ、極メテ必要デアラウ

ト思ヒマス、是非其筋ニ於カレテモ、我ガ

正シイ國ノ名稱ガ一般ニ行ハレルヤウニ、

相當ナル手續ヲ執ラレンコトヲ希望スル趣

意デアリマス、御採擇ヲ願ヒマス

○高橋主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○高橋主査 採擇スルコトニ決シマシタ

○高橋主査 日程第四、皇國國體號確立ニ

關スル件、文書表第六百五十八號乃至第六

百六十三號ヲ議題ト致シマス——紹介議員

池田敬八君

○池田敬八君 本請願ハ同僚我黨及政友會

ノ諸君カラモ紹介ニナツテ居リマスルガ、私

カラ其趣旨ヲ述ベタイト思ヒマス、此請願

ノ趣旨ハ成ガ日本國ヲ從來日本帝國ト稱ヘ

テ居ルガ、宜シク日本皇國ト稱ヘルコトニ

致シタイト云フノデアリマス、元來帝國ノ意

味ニハ二色アリマシテ、廣イ意味ニ於テハ形

式上ノ上カラ言ウテ、君主國デアルト云フ制

度ヲ意味スルノデアツテ、一ツハ狹イ意味デ

國ノ性質ノ上カラ之ヲ稱ヘルノデアリマス、

所デ從來西洋ノ「エンパイア」ト云フノガ帝

國ト譯サレテ居リマス爲ニ、日本モ日本帝

國ト云フコトガ普通ノヤウニナツテ居ルノ

デアリマスケレドモ、元來我國ノ國體ハ申

ス迄モナク、神代カラ始ツテ一君萬民ノ世界

無比ノ國デアリマスルノデ、即チ「スメラミ

クニ」ト稱ヘラレ、又之ヲ統ベラレル天

皇ハ「スメラミコト」ト申サレテ居ルノデア

リマス、斯ル上カラ普通ノ「エンパイア」即

チ帝國皇帝ト云フノトハ自ラ性質ヲ異ニシ

テ、即チ 天皇ト申シ奉ルノデアリマス、故

ニ國語トシテハ皇國ト之ヲ稱ヘナケレバナ

ラス、即チ皇國ト云フノハ神ノ意ニ依ツテ

始ツク君主ノ國ト云フノデ、人意ニ依ツテ建

テラレタル所ノ君主國トハ自ラ違フノデア

リマス、故ニ 明治天皇ノ明治元年ノ詔ニ

「崇神祇重祭祀——皇國大典政教基本」ト

アルノデアリマス、又明治三十年、後藤象

二郎ニ給ハリタル詔詞ニモ「王政復古ノ大

義ヲ痛論シ、以テ群議ヲ排シ、皇國同天ノ偉

業ヲ毗贊シ、以テ國是ヲ鞏クス」ト斯ウ仰

セラレテ居ルノヲ見テモ、皇國ノ適當デア

ルト云フコトヲ知ラナケレバナラヌノデア

リマス、要スルニ請願者ノ趣旨ト致シマス

所ハ「夫レ、名ハ實ノ賓ナリ、名正シカラザ

レバ、則チ言順ハズ、言順ハザレバ、則チ

事成ラズ、事成ラザレバ、則チ禮教興ラズ、

禮教興ラザレバ、則チ刑罰中ラズ、刑罰中

ラザレバ、則チ民、手足ヲ措クトコロナシ、

故ニ古來賢哲ノ政ヲ爲スヤ、必ズ先ヅ其ノ

名ヲ正スヲ以テ先ト爲セリ」ト云フ此精神

ニ出テ居ルモノデアリマス、要スルニ「エ

ンパイア」ト云フ言葉ノ裏ニハ不侵略、征

略ノ帝國ト云フ意味ガ含マレテ居ルノデア

アリマスガ、我國ハ決シテサウ云フ國柄ト

ハ違フト云フコトヲ明ニシタイト云フノデ
アリマス、本請願者ハ大正八年カラシテ皇
明會ト云フノヲ拵ヘマシテ、此趣旨ヲ天下
ニ發表シテ居ルコトガ既ニ十七年モ唱ヘテ
居ルノデ、是非我國ノ國號ノ稱呼ニハ皇國
ト云フコトニ致シテ、帝國ニ代ヘルト云
コトニ致シタイト云フノガ趣旨デアリマス
カラ、何卒御採擇アラシコトヲ御願致シ
ス

○議員政府委員 此點ニ付テハ政府方面デ
一言申上ゲテ置カナケレバナラスト思ヒマ
スガ、皇國ト云フ言葉ヲ通常ノ場合ニ使フ
ノハ自由デアルト云フコトニ付テハ、別ニ
反對致ス次第デアリマセヌガ、帝國ヲ皇
國ニ改メナケレバイケナイノダト云フコト
ニ付キマシテハ、色々ナ點ニ支障ガアリマ
スルノデ、御考ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、
只今帝ト云フノハ征略的ナ意味ヲ有ッテ居
ルカラト云フヤウナ御趣旨ガアツタヤウデ
アリマスガ、外國ノ「エンバイヤ」或ハ「ライ
ヒ」ナント云フヤウナモノヲ譯ス時ニ帝ト
譯シタ、其譯方ガ或ハ惡カッタカモ知レヌト
思ハレマスガ、帝ハ必シモサウデハナイノ
デゴザイマセウシ、例ヘバ堯舜ハ帝ト稱ス
ルシ、ソレカラ上古ノ神農氏ナドハ之ヲ皇
ト云フ、三皇五帝ト御承知ノ通りニ言ッテ居

ルヤウナ譯デアリマス、ソレ等ノコトハ非
常ニ支那ノ文獻ナドヲ漁リマシテモ到ル處
ニ見マスル、夏、殷、周ハ王ト稱スル、堯
舜ハ帝ト稱シ、又神農氏ヨリ前ハ三皇、皇
ト申シタト云フ事實ガアル、サウ云フ所ハ
到ル處ニ見エマスガ、ソレ等ヲ拔キマシテ
モ、憲法ニ於キマシテハ、「大日本帝國憲
法」又ハ日本ノ國ヲ指ス場合ニ、第一條ニ
於キマシテハ「大日本帝國ハ萬世一系ノ

天皇之ヲ統治ス」ト明瞭ニ申シテ居リマス、
故ニ若シ我が憲法ノ第一條ノ帝國マデモ直
スノダト云フコトニナリマスレバ、是ハ甚
ダ長多イ話デアリマスガ、陛下ノ外ニハ
發案ノ權能ヲ何人モ有ッテ居リマセヌノデ
アリマス、之ニ對スル請願ハ請願令ニ於テ
禁止シテ居ルト云フヤウナ譯デゴザイマス
カラ、サウ云フ御趣旨マデハ無論ナイト
思ヒマスガ、帝國ト皇國トドチラノ方ガ宜
イカト云フ問題ヲ假ニ抽象的ニ決メタト致
シマシテモ、サウ云フ所ニ故障ガ起ッテ來
ル、又先程御詔勅ナドヲ御引キニナリマシ
タガ、反對ノ御詔勅ナドモアリマスル、憲
法發布ノ御詔勅ニ、明ニ帝國ト申シテ皇國
トハ申シテ居リマセヌ、ソレカラ又極ク最
近ノ御詔勅デアリマス所ノ國際聯盟脫退ニ
關スル所ノ御詔勅ニ於テモ「帝國ノ參加ヲ

命シ」云々ト云フ御言葉ガアリマス、決シ
テ是ハ皇國トハゴザイマセヌ、サウ云フヤ
ウナ色々ナ事情ガアリマシテ、何方ノ方ガ
宜シイカト云フコトヲ抽象的ニ唯考ヘルナ
ラバ、或ハ其自由ガ許サレテ居ルカモ知レ
マセヌケレドモ、皇國ト帝國ヲ改メルノダ
ト云フヤウナ趣旨デアリマス、幾所モ故
障ガ起リマス、ソレデ是ハ政府トシテモ默ッ
テ居ル譯ニ實ハ參リマセヌ、其邊ノ所ヲ御
參酌願ヒタイト思ヒマス

○池田敬八君 只今政府委員ノ御話モ御尤
ト思ヒマス、聞ク所ニ依レバ、請願提出ノ
場合ニモ左様ナ意見ガアリマシテ、初メ出
シタモノヲ少シク改メタ、ソレハ要スルニ
趣旨ガ、先ニモ申上ゲマシタガ、廣イ意味
ノ帝國ト、狹イ意味ノ帝國ト云フ考カラシ
テ改メマシタノデ、即チ只今ノ御話ノ帝國
憲法ノ如キハ、是ハ廣イ意味ニ於テ請願人
ガ考ヘテ居ル所デ、決シテ是マデモ改メナ
ケレバナラスト申ス次第デハナイ、要スル
ニ之ヲ私が請願者ノ本當ノ精神ヲ付度スレ
バ、詰リ一般ノ者ニ我國ハ他ノ帝國トハ違ッ
タル「スメラミクニ」デアルト云フ精神ヲ何
處迄モ持タシタイト云フ考カラ出タコト、
思ヒマスノデ、此意味ニ於テ、即チ普通ニ
使ハレル所ノ帝國ト云フノデナク、特殊ノ

國柄デアルト云フコトヲ表ス爲ニ、成ベク
皇國ノ國號ヲ出來ルダケ使ヒタイ、斯ウ云
フ趣旨ニ出タモノト御承知ヲ願ヒタウ存ジ
マス

○岡田委員 本件ハ普通ノ請願トハ趣ヲ異
ニ致シマシテ、只今紹介議員池田君ヨリノ
御紹介ノ意見ガアリマシタ、ソレニ對スル
政府當局ノ所懷ヲ述ベラレタノデアリマス、
本員モ政府委員ノ披瀝セラレタ本件ニ對ス
ル御所懷ガ最モ爾アルベキモノナリト考ヘ
ル者デアリマス、一體四宮憲章ト云ハレル
方ハ餘程國學トカ、或ハ國號トカ申ス方ニ
造詣ノ深イ方デアラレ、種々ノ點ニ於テ深
キ考ヲ藏シテ居ラル、篤學者デアラル、ト
思フノデアリマス、併シ此方ノ本當ノ意中
ハ、憲法ノ條章ノ改正ニ迄透徹セシメタイ
ト云フヤウナ模様モ窺ハレ得ルノデアリマ
シテ、申ス迄モナク請願ハ文章其モノカラ
申シマシテモ、哀願體ヲ以テ爲スベシト云
フコトヲ明ニシテ居ル位デアリマシテ、自
分ノ全クノ衷情ヲ披瀝シテ、請願令ニ依ル
所ノ民意ノ達成ヲ期スルト云フコトガ目的
デナケレバナラスト思ヒマス、本請願ノ如
キハ隨分大キナ事柄ニナリマスノデ、政府
委員ヨリノ御意見ニ依ッテ其點ハ明ニナリ
マシタカラ申上ゲマセヌガ、先ヅ帝國憲法

ト云フモノニ對シテ直チニ考フ及ボサナケレバナラヌ、吾々ガ立法院ニ立ッテ居リマス、此衆議院、貴族院、即チ帝國議會、是モ明ニナッテ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フヤウナ點カラ考ヘマス、斯ノ如キ事柄ノ請願ハ、或ハ詳細ニ之ヲ檢討致シマスナラバ、祕書課ガ受理スル時分ニイマ一段考ヘナケレバナラヌモノデハナイカト思ヒマス、委員會ニ於テ之ヲ紹介セラレ、政府ノ所懷ヲ求メ、委員ガ之ニ對スル審議ヲ致スト云フソコマデニ至ラナイ方ガ宜カッタノデハナイカ、斯ウ考ヘル者デアリマス、紹介議員ノ池田サシニ御相談デアリマスガ、一應此請願ハ下戻ヲ御考下サル譯ニハイカヌモノデアルカドウカ、是ニ於テ之ヲ可トカ否トカ云フコトヲ決スルコトガ却テ此請願者ノ御趣旨ニ副ハヌコトニナリハシナイカ、私ハ斯様ナ請願ハ請願トシテ御出シニナルヨリハ、別ノ方法ニ依ラレルモノデハナイカト考ヘルノデアリマス

○荒川委員 只今池田君ノ御紹介、政府委員ノ答辯、竝ニ岡田委員ノ意見ハ皆御尤デアリマス、所ガ此帝國ト云フノハ支那ノ皇帝、ソレカラ西洋ノ「エンパイヤ」ト云フヤウナ所カラ、餘リ研究セラレズニ帝國ト云フ名ガ出タモノト思ヒマス、憲法ノ中ニハ

帝國憲法トハアリマスガ、本文ノ中ニハ帝國ト云フ名ハナイ、天皇デアアル、日本ニハ帝國ト云フモノガナイノデアリマス、天皇ノ國デアアルノデアリマスカラ、ソレヲ漢學ナドノ通稱ヨリ帝國ト云フ名ガ自然ニ來タノデアリマス、併シ其來タノハ中々古イコトデ、支那ノ帝國ト云フノト、同ジ意味、「エンパイヤ」ト同ジヤウナモノト考ヘテ居ルノデハアルマイト思ヒマス、ケレドモ今ヤ國民總テノ上ニ我國ヲ見返ッテ、自主的ニ檢討スル氣風ガ起キタト云フコトハ大ニ喜ブベキコトデアリマスカラ、之ヲ此委員會決スルト云フコトモ穩當デナイト思ヒマス、請願者ノ誠意モ諒トシ、是ハ參考トシテ送付セラレルヤウニ希望致シマス

〔贊成「ト呼フ者アリ」〕

○高橋主査 荒川君ノ御意見ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○高橋主査 御異議ナシト認メマス、仍テ本請願ハ參考トシテ政府ニ送付スルコトニ決シマシタ

○高橋主査 日程第五、國會議事堂内ニ聖德太子尊像奉安ノ件、文書表第六百八十六號乃至六百八十八號ヲ議題ト致シマス、紹介議員安藤正純君ノ御説明ヲ願ヒマス

○安藤正純君 此席デ失禮デアリマスガ、簡單ニ説明致シマス、是ハ帝國議會ノ議事堂内ニ聖德太子ノ尊像ヲ奉安ヲシテ戴キタイ、斯ウ云フ請願ノ趣旨ナノデアリマス、説明スルマデモナク聖德太子ハ我國攝政ノ初デアリマシテ、且ツ聖德太子ハ内治ニ外交ニ非常ナル偉績ヲ遺サレタ方デアリマス、内治全般ニ德政ヲ施サレタコトハ勿論、建築、美術、工藝、音樂、百般ノ事ニ對シマシテ非常ナ指導ヲセラレテ我國ノ文化ヲ向上シタコトニ於テモ非常ナル功績ガアリマス、ノミナラズ當時ノ外交、即チ支那ニ致シマシテ我國ノ國威ヲ發揚セラレタコトモ明デアリマス、此聖德太子ハ十七憲法ヲ制定セラレマシタ、即チ我國ノ今日ノ憲法トハ違ヒマスガ、免モ角モ此十七憲法ガ我國憲法ノ始デアリマス、斯ウ云フ御方デアリマスノデ、我國文化史上カラ見テモ、亦立憲政治ノ沿革ト申シマスガ、是等ノ上カラ見マシテモ、其基礎觀念ノ上ニ於テ斯ウ云フ絶大ナル遺績ヲ有タレテ居ル聖德太子ノ尊像ヲ、兩院議事堂ノ何レカノ部分ニ奉安シテ置クト云フコトハ、立憲政治ト云フ記念ノ上カラ見テモ、且又現在ノ濁濁セル思想問題ノ上カラ見テモ、非常ニ必要ナルコト、存ジマス、ソレデ此請願ノ趣旨ハ、

兩院議事堂内ノ何レカノ所ニ聖德太子ノ尊像ヲ奉安ヲシテ戴キタイト云フコトデアリマス、私ハ此請願ノ趣旨ニ共鳴致シマシテ紹介ヲ致シタ次第デアリマス、宜シク御審議ヲ願ヒマス

○荒川委員 只今請願ノ趣旨ヲ承リマシテゴザイマスガ、聖德太子ノ憲法ハ今日ノ憲法トハ根柢ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、是ハ寧ロ國民軌範ヲ定メラレタモノデ、國ノ政治モ含ミ、教育モ含ミ、日常一般ノ國民道德モ含ンダモノデ、和ヲ以テ貴シト爲スト卷頭ニ述ベラレテアルノデアリマスカラ、今日ノ帝國ニ憲法アリ、聖德太子ノ十七憲法ト其名ハ同ジコトデアリマスガ、其根本タルヤ全ク根柢ヲ異ニシテ居ルモノデアリマスカラ、其國民軌範ヲ定メラレタル非常ナ御遺德ヲ慕フ爲ニ、國ノ政治ノ根本タル、或ハ内閣トカ何トカ云フ所ニ奉安スルト言ヘバ穩當デアリマセウガ、憲法ノ運用ニ依ルト云フ議會ニ特ニ此聖德太子ノ尊像ヲ奉安ヲスルト云フコトハ如何デアリマセウカ、サウスレバ神道ノ上ニ於ケル其先覺者ハドウデアルトカ、斯ウ云フ方モ安置シナケレバナラヌト云フヤウナコトニナリハシマスマイカ、只今説明者モ十七憲法ト今日ノ帝國憲法トハ趣キヲ異ニシテ居ルト云フ

コトハ御認メニナツタノデアリマスケレドモ、從來此名ガ全ク同一デアアルガ爲ニ、動モスレバソレト同一ノヤウニ、世間ガ幾ラカ此道德軌範ノ憲法ト、國家ノ根本法デアアル帝國憲法ト混同スルヤウナ嫌ヒガ却テ起キハシマスマイカ、聖德太子ノ遺徳功績ハ共ニ國民ノ欽仰スル所デアリマスケレドモ、特ニ十七憲法ニ因ンデ之ヲ帝國議會ニ奉安ラスルト云フコトハ如何デアラウカト思ヒマス

○安藤正純君 私ハ一應説明シテ置ケバ宜イノデアリマスガ、併シ今荒川君カラ御話ガ出タカラ一應言ッテ置キマス、私モ十七憲法ガ現在ノ帝國憲法ト同ジトハ言ハナイ、違フト言ッタノデス、又違フ譯デアアル、併シソレガ全部違フトハ言ヘナイノデス、見地ヲ別ノ所ニ立ッテ考ヘマスト、當時ノ十七憲法ハハは德教ナンデス、德教ノ基礎ニ立ッテノ憲法デアアル、今日ハ法治國デアリマスカラ、法治ノ基礎ニ立ッテノ憲法ダカラ、勿論違フノデス、當時今カラ千三四百年前ニ法治國デアアルベキ理由ハアリマセヌカラ、當時ハ德教デアッタノデアアルカラシテ、ソレガ憲法ノ基礎ニナツタ、其精神狀態ハ私ハ今日法治國ニナツテモ之ヲ維持シナケレバナナリナイト思フ、寧ロ餘リニ此法治ニ流レテ居ル

ト云フコトガ今日百弊ノ根源ニナツテ居ル、是ハ教育家デアリ思想家デアアル荒川君ナドハ、寧ロ私ト同論デアアルベキ筈デアアル、ソレデアリマスカラ、此聖德太子ノ尊像ヲ安置スルト云フコトヲ、必シモ憲法ノ是ガ源デアアル、其聖德太子ダカラ安置シタガ宜イト云フコトヲ強調シテ居ルノデハナイ、ソレハ唯サウ云フ事ガアッタト云フコトヲ申上ダタニ過ギナイ、ソレダカラ私先程簡單デハアルガ説明シタ中ニ於テモ、今日思想問題ナドガ混亂シテ居ル、サウ云フ際ニ國民ノ儀表トナル、又ナラナケレバナラナイ所ノ其議會ニ、太子ノ尊像ヲ安置スルト云フトモ、是ハ又一ツノ善イ事デハナイカ、斯ウ云フ意味ニ於テ私ハ紹介ヲ致シタ次第デアリマス、ドウカ其邊ハ能ク荒川君ハ諒解シテ下サルト思ヒマス、一應是ダケ荒川君カラ御話ガ出マシタカラ、重ネテ一寸説明ヲ附加ヘテ置キマス

○岡田委員 只今安藤紹介議員ノ本請願ニ對スル紹介ノ御趣旨モ伺ヒ、荒川委員ノ之ニ對スル御高見モ伺ヒマシタガ、要ハ本請願ノ趣旨ハ國會議事堂内ト云フコトニナツテ居リマスケレドモ、是ハ帝國議會ノ構内ト云フコトニ考ヘタ方ガ宜イト思フノデアリマス、何レハ聖賢デアアル人々デアルト

カ、或ハ特ニ憲法政治ニ對スル深キ先見ヲ有ッタ人々ノ尊像ヲ安置スルト云フ、此帝國議會ノ構内ヲ飾ルベキ、何カ議事堂ヲ表徴スル所ノ一ツノ備ヘラ爲スト云フコトモ、何レハ起キルコトデアラウト思ヒマス、其場合ニ一般ノ中カラ選擇致スト云フコトモ宜イカモ知レマセヌガ、斯ノ如キ場合ニ最モ憲法政治ニ一〇只今一寸御論議ガアリマシタヤウニ、十七條憲法ヲ仰出サレテ居ッタコト、現在ノ憲法トハ、多少其簡條、意味ニ於キマシテ、範圍ノ内外モアリマセウケレドモ、要スルニ今ノ立憲政體ニ入ルベキ本當ノ基礎ト申シマスカ、濫觴ヲ御示シ遊バサレタコトハ間違ノナイコトデアリマ

スルカラシテ、是ハ請願ニ出テ參リマシタガ、請願ガアリマセヌデモ、斯様ナコトハ考ヘテ見ナケレバナラズ、無論斯ウ云フコトガ實現シテ來ルノデアッタラウト思ヒマス、其意味ニ於テ、本請願ハ深ク論議ヲセズシテ採擇シテ可ナリト考ヘマス、採擇ニ御同意ヲ願ヒマス

○安藤正純君 採擇シテ下サレバ結構デスガ、一寸私極ク簡單ニ二三言ハシテ戴キタイ、今御諒解下サレテ有難イ譯ナシタガ、是ハ能ク考ヘテ戴キタイノデアリマシテ、餘程今諒解ノナイヤウナ傾モアルノデアリ

マス、ソコデ此請願デハアルガ、私ハは大ニシテ戴イテ宜イダラウト考ヘルノデス、聖德太子ヲ誤ッテ、何カ徒ニ外國思想ヲ輸入シテ、殊ニ當時ノ輸入サレツ、アッタ所ノ佛教ヲ、徒ニ聖德太子ガ取ッテ、サウシテ何カ外國思想ノ方ニ曲ゲテ、當時ノ國事ヲヤッタヤウニ曲解シ、誤解シ、寧ロ研究不足ニシテ、サウ云フ考ヲ有ッテ居ル人ガアルラシイ、是ハ餘程考ヘナケレバ國民精神ノ歸趨ヲ誤ルト思ヒマス、殊ニ現内閣ノ政務官ニシテ、サウ云フ考ヲ有ッテ居リマス、其事ハ一言言ッテ置キタイガ、例ヘバ陸軍參與官ノ石井三郎君ガ「青年日本」ト云フ雜誌ニ、麗々トサウ云フヤウナ、今私ガ申上

ガタヤウナコトヲ掲ゲテ、聖德太子ヲ誹謗シテ居リマス、是ガ過日來世ノ中ノ相當ノ問題ニナツテ居リマシテ、是ハドウシテモ糺彈ヲシナケレバナラナイト云フヤウナ議論ガ大分ヤカマシクナツテ居リ、私モ其事ニ付テ諸方カラ聞カサレマシタ、デ私ノヤウナ思想問題トカ、教育問題トカ云フヤウナコトニ、今マデニ關係ノアル者ハ、此際起タナケレバナラヌデヤナイカト云フコトマデ言ッテ私ハ追及サレタ、併シ私ハソレハ待チ給ヘ、一參與官ガ左様ナコトヲ研究モセズ、頗ル研究不足ニシテ、ソシナコトヲ雜誌位

ニ書イタ所デ、直チニ問題ニスルノニハ餘
リニ大人氣ナインヂヤナイカ、餘リニ小
サ過ギルヂヤナイカ、唯ソレヨリハ、
軍部ガ若シ誤ッテソナ考ヲ有ッテ居テ、
自分ノ方デ採用シテ居ル參與官ノ言議
ヲ、安リニ容認シテ居ルト云フヤウナコ
トガアツタナラバ、是ハ許スベカラザル
コトダ、若シサウデアルナラバ、私ハ敢然
起ッテ議會ニ於テ之ヲ追究シナケレバナラ
ヌト、其人々ニ能ク言ッテ置キマシタ、併シ
私ハ石井君モ決シテソナ考ヂヤナイノダ
ラウト思フ、又勿論軍部ガ左様ナ誤ッタ考
ヲ有ッテ居ラナイコトハ勿論デアルト自分
ハ諒解シテ居リマシタカラ、マア騒ガナイ
デ待ッテオイデナサイト言ッテ、實ハ宥メテ
置イタ譯デ、私ハ決シテ之ニ對シテ議會デ
何モ言ハナカッタノデアリマス、丁度今日請
願デハアリマスガ、聖德太子ノ問題ガ此處
ニ出テ參リマシタノデ、サウ云フコトモア
リマスカラ、國民ノ儀表トナリ、師範トナ
ルベキ行動ヲ執ラナケレバナラナイ貴衆兩
院議員ガ、自ラ聖德太子ト云フ此日本文化
ノ先導者、國民思想ノ淵源ヲ作ルノニ非常
ナ功績ノアツタ、此聖德太子ノ尊像ヲ議事堂
内ニ置イテ、之ニ朝夕咫尺スルト云フコト
ハ、思想問題啓蒙ノ立場カラ言ッテ、決シテ

無駄ナコトデハナイト私ハ思フ、併ナガラ
私ハ之ヲ議事堂ノ何處カ表面ニ飾ッテ、之
ヲ禮拜スルト云フヤウナ考ヲ有ッテ居ルノ
ヂヤナイノデス、私ノ此取次ヲシタ考ハ、ソ
レハ只今岡田委員ガ御話下サツタノト同ジ
考ナンドス、丁度私ノ考ヲ岡田君ガ言ッテ吳
レタ譯デ、必シモ議事堂ノ表面ニ飾ルトカ、
或ハ本當ノ議事堂ノ所ニ飾ルト云フ意味ヂ
ヤナイ、是ハ、議員ノ休憩室デモ宜シウゴ
ザイマス、或ハ各派交渉室ト云フヤウナ所
デモ宜シイ、議長、副議長ノ肖像スラ竝ベ
テアルノデスカラ、其上ノ所ニ掲ゲテモ宜
イデセウ、是ハ一例デアリマスガ、ドウ云
フヤウナコトヲシテモ、サウ云フヤウナコ
トガアツテ、多少デモ心身ヲ刺戟スルコトガ
出來レバ結構デアルト思ヒマス、此際餘計
ナコトデアアルガ、一寸此機會ヲ借リテ申上
ゲタ次第デアリマス、ドウゾ宜シク願ヒマ
ス

〔採擇賛成〕ト呼フ者アリ〕

○高橋主査 岡田君ノ御意見ノヤウニ、採
擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○高橋主査 採擇ニ決シマシタ

○高橋主査 日程第六、萬世一系ノ皇統御
太元號肇國ノ紀元ニ關スル件、文書表第六

百十三號ヲ議題ト致シマス、紹介議員荒川
五郎君ノ御説明ヲ願ヒマス

○荒川委員 簡單ニ説明致シマス、我國ノ
紀元ハ一體何時デアルカ、或ハ天照大神ノ
所謂天壤無窮ノ詔勅ニ始マルベキモノデア
ラウ、然ルニ其神代ノ年數ガ或ハ明デナイ
爲ニ、日本ノ紀元ハ神武天皇ノ御即位ノ年
ヲ以テ紀元トセラレテ、ソコニ紀元節ナル
大祝日ガ定メラレタノデアアル、併シ是ハ日
本ノ開國ノ紀元デハナイ、建國ノ紀元デモ
ナイ、神武天皇ノ御即位紀元デアアル、然ル
ニ近來、其日ニ日本ガ建テラレタカノヤウ
ニ、建國祭ヲ行ヒ、神武建國ト云フ言葉ガ
多く用ヒラレルヤウニナッテ居ル、抑々日本
ハ建テラレタ國デハナイ、出來タ國デアアル、
此處カラ見タナラバ原始國家デアアル、自然
國家デアアル、建設シタ、或ハ他ノ國ヲ征服
シタ征服國家、或ハ他ノ國カラ分レテ出タ
分立國家デハナイノデアアル、然ルニ神武天
皇即位紀元ト云フモノヲ定メラレテ、其紀
元節ガ日本ノ建國ノ紀元ノヤウニ思ヒ誤ル
ト云フコトハ、甚ダ遺憾デアリマス、日本
ノ建國ハ尙ホく悠久ナノデアリマス、教育
ノ御勅語ニモ「皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ」
トアツテ、建テラレタ國デハナイノデアリマ
ス、隨テ其事ハ曆ニモ立派ニ紀元ハ神武天

皇ノ即位紀元、斯ウ明ニナッテ居ルニモ拘
ラズ、此時ニ日本ガ建テラレタカノヤウニ
誤ッテ、サウシテ何カ建國祭ト言ッテ、日本
ハ神武天皇ガ建國セラレタヤウニ考ヘラレ
ルト大變ナ間違ヲ起スコトニナル、サウス
ルト神武天皇ノ御東征ハ他ノ國ヲ征伐シテ
取ラレタ征服國家カノヤウニ思ヒ誤ッテ來テ
非常ナ間違ヲ生ズル譯デアリマス、仍テ此
萬世一系ノ御太元ハ——所謂萬世一系ト云
フコトハ神武天皇以來萬世一系デハナイ、
神武天皇モ萬世一系ノ中途ヲ承ケテ居ラレ
ルノデアアル、此國體ノ成立ヲ明ニスル爲ニ
此萬世一系ノ皇統ノ御太元ヲ明ニシテ、我
ガ日本肇國ノ紀元ヲ明定セラレタイト云フ
ノガ本請願ノ要旨デアリマス、御採擇ヲ願
ヒマス

○沼田委員 本請願ノ御趣旨ニハ私共同感
デアアルデアリマス、サリナガラ只今紹介
議員ノ荒川サンカラ御話ニナリマシタ如
ク、神代ノ年號ガ甚ダ分リ惡イ、算定ガ仕
惡イト云フコトヲ仰セラレテ居ル、私共モ
左様ニ解スルノデアリマス、然ラザレバ固
ヨリ我國ノ紀元ハ天照大神ノ時ヨリ算ヘラ
ルベキコトガ當然デナケレバナラヌノデア
リマスガ、ソレガ今日マデ然ラザル所以ノ
モノハ其年ヲ算ヘルコトガ出來ナイ、ソレ

ガ不明デアル爲ニ、斯ウ云フコトデアッタト私共ハ信ズルノデアリマス、斯ウ意味カラ以テマシテ出来得ルコトナラバ、紹介議員ノ言ハル、如ク私共ハ同感デアリマスルカラ、紀元ヲソレカラ算ヘテ戴キタイノデアリマススケレドモ、併シ今申ス如クハッキリ致サスト致シマスレバ、現代ノ儘デ暫時私共ハ行カナケレバナラスモノダトモ思ハレルノデアリマススケレドモ、併シ大體請願者ノ趣旨ニハ私共ハ同感デアリマスルカラ、之ヲ政府ニ參考送付トシテ特ニ政究シテ戴キタイ、斯ウ云フコトニ致シタイト思ヒマス

○高橋主査 沼田君ノ御意見ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○高橋主査 御異議ナシト認メマス、仍テ本請願ハ參考送付トシテ政府ニ送付スルコトニ決定致シマシタ

○高橋主査 尙ホ此際御諮リヲ致シマス、大分時間モ遅レテ居リマスノデ後ハ午後ニ致シタイト存ジタノデアリマスガ、日程ノ九ト十ノ紹介議員ノ方ガ午前中カラ大分御待チニナツテ居リマス、午後マデ御待チ願フコトモ甚ダ恐縮ニ思ヒマスノデ、此際九ト十トヲ繰上ゲマシテ午前中ニ御審議ヲ

願ヒタイト存ジマス、宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○高橋主査 ソレデハ此際日程九ヲ繰上ゲマシテ日程九、砂糖消費税目免除ニ關スル件、文書表第六百二十一號ヲ議題ト致シマス、紹介議員板野友造君ノ御説明ヲ願ヒマス

○板野友造君 時間モ迫ッテ居リマスノニ特ニ之ヲ御審議下サルト云フコトハ洵ニ有難ウゴザイマス、此請願ノ趣旨ハ極メテ簡單デアリマス、文書表ニアル通りデゴザイマシテ、一口ニ申シマス、只今ノ砂糖消費税ハ實量査定ニ依ッテ課税ヲ致シテ居リマスガ、實量査定ニ依ッテ課税ヲスル結果、例ヘバ積出シタ時ニ百斤アツタモノガ、ソレカラ後時間ヲ經テ方々ニ轉々シテ是ガ消費水手ニ渡ル時ニハ、百斤ノ砂糖ノ中カラ水分モ發散スル、ソレガ爲ニ幾ラカノ斤量ガ減ル、ソレカラ砂糖ガ容レ物ニクツ付クトカ、或ハ方々ニ滾レルト云フヤウナコトデ、運搬ノ中途ニ於テ其斤量ガ減ル、斯ウ云フコトニナリマスカラ、結局百斤積出シタ砂糖ガ是等ノ事情ニ依ッテ消費者ノ手ニ渡ル時ニハ九十七斤シカナ、九十五斤シカナ、然ルニ積出シタ時ノ百斤トシテ税ヲ取ルカラ、其減ッタダケノ三斤若クハ五

斤ハナイモノニ課税ヲスルコトニナル、此點ガ實際ニ照シテ甚ダ不當ナコトニナル、是ハ以前ハドウ致シテ居ッタカト申シマス

ト、協定率ニ依ッテ百斤ノ砂糖ハ之ノ水分ノ發散、若クハ途中ニ於テ滾レルトカ、減ルトカ云フコトデ、三斤乃至五斤減ルモノトシテ、ソレダケハ入目ト云ッテ税ヲ課ケナカッタ、今度ハサウデナク全部ニナルノデスカラ、實際其人達ノ手ニ渡リマシタ時ニハ、ナイ砂糖ニ税ヲ課セラレルト云フコトニナルカラ、生産者ニモ、消費者ニモ、亦仲介者ニモ甚ダ不當ナ結果ヲ及ボス、是非當然減ルト見ルベキ相當ノ斤量、即チ入目ト云フモノヲ復活シテ、是ダケハ無税ニスル、百斤ニ對シテ一斤トカ、三斤トカ、或ハ五斤、是ハ直グ分ルカラ、ナイモノニ税ヲ課スルト云フ不當ヲ除イテ戴キタイ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、ドウゾ御採擇ヲ願ヒマス

○廣瀬政府委員 本請願ニ對スル政府ノ意見ヲ申上ゲタイト思ヒマス、此請願ノ御趣旨ハ政府ガ砂糖ノ査定ノ方法ヲ實量査定ノ方法ニ改メマシタ結果、事實消費セラレナイ不足ノ入目ニ對シテ課税セラレルヤウニナツテ甚ダ不都合デアアル、隨テ之ヲ改メタイト云フ御趣旨デアルト存ズルノデアリマス、政府

ガ實量査定ヲ致スコトニナリマシタニ付テハ、既ニ御承知ノコトト思ヒマスガ、實量査定ノ方法ニ依ッテ課税ヲ致シマス以上ハ、斯ノ如キ結果ニナルコトハ、只今ノ所止ムヲ得ザルコトデアルト存ジテ居ル次第デアリマス、併ナガラ此請願ノ御趣旨ニ付テハ、相當考慮ヲ要スル點ガアルト思ヒマスノデ、政府ニ於テモ將來適當ノ機會ニ於テ、慎重ニ考慮シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○岡田委員 此請願ハ六十五議會ニ於キマシテモ十分慎重審議ヲ致シタ結果、大藏當局ニ於ケレテハ、此事ヲ只今廣瀬政府委員ノ御意見ノヤウニ、稍、認メテ居ラレルノデ、成ベク其請願ノ趣旨ニ副フヤウニシタイト云フマデノ御答ガアリマシタ、其後承ル所ニ依レバ、幾何カ其點ニ付テ加減ガセラレテアルヤウデアリマスルケレドモ、未ダ徹底シタ所マデハ至ッテ居ラナイ、申スマデモナク砂糖ノ消費税ニ對シテハ、脱税ニ疑ハシヤウナ行爲ニナツテハ相成ラヌコトハ申スマデモナイコトデアリマスガ、百斤ノモノヲ受渡ヲ致シテ、受取ル者ガ九十八斤ヨリナシト云フコトニナレバ、確ニ是ハ二斤ナリ或ハ一斤半ナリハ、買ッた者ガ渡シテ來ラレナイト云フコトデアッテ、之ヲ一般ノ市井ニ於ケル量目等ノ取締ノ上ニ於キ

マスルト、當然警察ハ之ヲ檢舉シテ處分スル、場合ニ依レバ裁判所マデ引張り出シテモ、其事ヲ強制スルト云フ情勢ニアルモノト思フ、砂糖ノ關係ニ在ッテハ當然足ラヌモノヲ引渡ラサシテ、サウシテ一向ソレヲ不當ナコトデアルト云フコトヲ考ヘラレヌト云フコトハ、大藏省ハ、砂糖ノ消費稅ヲ成ベクヨリ以上ニ收納センガ爲ニ、斯ノ如キ不合理ナコトヲ敢テセシメテ置カレルヤウナ考ガ起キルノデアリマス、ドウカスノ如キ取引ノ上ニ於テ正確ヲ缺クヤウナコトヲ、政府自ラ之ヲ承認シテ置カレト云フヤウナコトハ、甚ダ取ラザル所デアリマスルカラシテ、決シテ十六貫目ノモノヲ以上入レルト云フコトニハ、無論取締ラナケレバナラヌノデアリマスルガ、ソレニ對シテ二斤モ、甚シキハ三斤モ足リナイモノヲ其儘ニ、賣買引渡ラセシメテ置クト云フコトハ、甚ダ不穩當ナ話デアリマシテ、サレバト申シマシテ五十目モ三十目モ、上ニモ下ニモナラヌト云フヤウニ嚴格ニハ參リマスマイクレドモ、大體ニ於テ所謂入目、大凡荷造梱包ヲシテ、其砂糖ヲ消費スル場合ニハ、大抵二斤位ノモノハ減額スルノデアルカラ、之ヲ丁度其補充ガ出來ル程度ノ梱包ダケハ是非御認メニナッテ、サウシテ一定ノ量目ト

價格ノ決ツク賣買ノ上ニ於テ、足ラナイモノヲ默認シテ受渡ラセシメテ置クト云フヤウナ不合理ノナイヤウニ、速ニ此點ニ付テ大藏省ニ於カレテハ、寧ロ嚴重ニ左様ノコトノナイヤウニ御取締ラセラレンコトヲ望ンデ置キタイト思ヒマス、採擇ヲ願ヒマス

○高橋主査 岡田君ノ御意見ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○高橋主査 採擇ニ決シマシタ

○高橋主査 次ハ日程第十、製油用大豆關稅免除率改正ノ件、文書表四百五十二號ヲ議題ト致シマス——紹介議員田村實君ノ御説明ヲ願ヒマス

○田村實君 極メテ簡單ニ御紹介ヲ申上ゲタイト思ヒマス、本請願ハモウ數回採擇ニナッテ居リマスルシ、或ハ又建議案トシテ可決セラレタコトモアリマス、要スルニ外國產ノ大豆ノ製油ノ原料ニナリマスモノニ向ッテ、關稅免除ノ恩典ヲ削除シテ、之ニ實稅ヲ課シテ貫ヒタイト云フノガ、本請願ノ要旨デアリマス、其理由ハ、我國農家ノ裏作デアリマス所ノ菜種栽培ニ對シマシテ、農林省ハ是ガ獎勵ノ爲ニ、相當ノ獎勵金マデ出シテ居ラレルノデアリマス、然ルニモ拘ラズ、製油用ノ原料大豆ニ對シマシテ免

稅ヲ致シテ居リマスガ爲ニ、著シク菜種ノ價格ニ影響ヲ及ボシマシテ、是ガ爲ニ菜種栽培ハ漸減ノ傾向トナッテ居ルノデアリマス、菜種ハ普通ノ裏作ト致シマシテハ、餘リ農家ノ經濟ニ對シマシテハ好イ裏作デアリマセヌケレドモ、此菜種ヲ栽培致シマス場合ニハ、菜種以外ノ裏作ヲ栽培スルコトノ出來ナイヤウナ土地ノ粗惡ナ場所デアリマスカラ、惡イ所ニ更ニ菜種ノ裏作ガ出來ナイト云フコトデアリマス、農家ノ經濟ニ重大ノ關係ヲ及ボス、斯ウ云フ譯デ、最モ菜種ノ栽培ノ多イ府縣ノ縣農會或ハ郡農會ノ人々ガ、此請願ヲ致シテ居ルノデアリマス、隨テ之ニ對シマシテ政府ノ御意見ヲ伺ッテ見マスノニ、最初ハ我國農家ノ豆糟肥料ノ價格ヲ暴騰セシムルカライケナイト云フヤウナ御話デアリマシタガ、請願者ハ肥料ニ使ヒマス所ノ原料大豆ノ免稅ニ對シテ、實稅ヲ課シテ與レト云フノデハナイ、又昨年ノ議會デアリマシタカ、日滿經濟ノ重大ナ關係上、俄ニ此問題ニ對シテ實稅ヲ課スル譯ニハ行カナイ、斯様ナコトヲ申サレテ居リマシタガ、滿洲カラ入ッテ來ル所ノ大豆ノ内、製油用ノモノハ極メテ僅少デアリマスノデ、ソレガ日滿經濟ニ重大ナル影響ヲ及ボストハ、紹介者ノ私共モ左様ニハ思

ヒマセヌノデアリマスカラ、ドウカ我國農村ヲ保護スル上ニ於キマシテモ、御採擇ヲ願フト共ニ、政府ニ於カレテモ成ベク請願者ノ希望ノ達成スルヤウ、特ニ御考慮ヲ御願致シタイト思フノデアリマス

○岡田委員 本件ハ第六十五議會ニ於キマシテモ、十分慎重審議シテ採擇致シタモノデアリマス、政府ノ御意見ガアレバ承リマシタガ、サモナケレバ此儘採擇シタイト思ヒマス

○廣瀬政府委員 只今紹介議員ノ御説明モアリマシタノデアリマスガ、本請願ハ從前ニ於テモ、本議會ニ請願サレタモノデアリマシテ、其後政府ニ於テモ慎重考究ヲ重ネテ居リマスガ、只今紹介議員ノ御話モアリマシタヤウニ、此大豆ノ關稅ノ免除率ヲ改正致シマシテ、菜子ノ場合ト同様ノ取扱ヲ爲スコトト致シマスレバ、實質的ニ滿洲大豆ニ課稅スルコトニナリマスノデ、是ハ日滿兩國經濟提携ノ強調サレテ居リマスル今日ノ情勢ニ照シマシテ、特ニ考慮ヲ要スル點デアルト思フノデアリマス、隨テ政府ハ本件ニ關シマシテハ、尙ホ今後ノ事情ノ推移ニ留意致シマシテ、慎重ニ考究致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○沼田委員 此大豆、所謂製油用ノ大豆ニ

對スル關稅ノ免除其モノニ對シマシテハ、
關稅定率法改正ノ當時相當ノ議論ガアツタ

ウシテ岡田委員ノ採擇說ニ贊成ラスルモノ
デアリマス

問題デアルノデアリマス、内地ニ於ケル茶

○高橋主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

種ノ培栽ニ、即チ農家ノ二毛作ニ重大ナル

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

影響ヲ與ヘルモノナリト云フ論議ガアツタ

○高橋主査 ソレデハ採擇ニ決シマシタ、

ノデアリマスガ、其際ハ遺憾ナガラ政治的

尙ホ既ニ第二分科ノ定刻ガ參ッテ居リマス

解決ニ依リマシテ、當時ノ委員會ノ多數ノ

ノデ、殘餘ノ日程ハ之ヲ延期シ、本日は是

意嚮ト云フモノガ採用セラル、ニ至ラナ

ニテ散會致シマス

カツタ、爾來此問題ガ度々本議會ノ請願、建

午後一時十二分散會

議其他ニ於テ現レテ來ルト云フノハ、謂

ハレナキモノデナイノデアリマス、況ヤ今

日ノ農村ノ實情カラ見マシテモ、即チ政府

委員ノ方ニ能ク考ヘテ戴キタイノハ、今期

議會ヲ通ジマシテ本會議竝ニ豫算總會ノ論

議ノ焦點ハ何デアルカト言ヘバ、農村振興

デアリマス、農村ノ疲弊困憊ガ論議ノ中心

トナツテ居ルノデアリマシテ、此種ノコトニ

對シマシテハ、日滿經濟ノ關係ハ固ヨリア

ラウトハ存ジマスケレドモ、サリトテ我國

ノ農家ノ疲弊困憊ヲ救フト云フ上カラ見マ

スレバ、適當ナル手段方法ヲ御講ジナサル

コトガ、私共ト致シマシテハ當然ノ事柄デ

ハナカラウカト思フノデアリマス、ドウゾ

斯ウ云フ意味合ヲ以チマシテ、更ニ政府當

局ニ於カレマシテハ之ニ對シマシテ善意ノ

御解決ヲ願フト云フコトヲ御願致シテ、サ

昭和十年二月十八日印刷

昭和十年二月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局